

匝瑳市区長会「まちづくり懇談会」概要

テーマ：6つのまちづくりビジョンと7つの重点施策について

- 1 日 時 令和4年11月12日（土）10時～11時25分
- 2 場 所 市民ふれあいセンター3階大ホール
- 3 参加者 匝瑳市区長会役員13人（欠席2人）
- 4 市職員 市長 副市長 教育長 秘書課長 企画課長 総務課長 財政課長 環境生活課長 産業振興課長 建設課長 市民病院事務局長 学校教育課長 生涯学習課長

5 概 要

- (1) 開会
- (2) 区長会長あいさつ
- (3) 市長あいさつ
- (4) 自己紹介
- (5) 懇談会
- (6) 閉会

6 懇談会の概要

座長

まちづくり懇談会発言要旨に基づき、順次進めさせていただきます。

なお、持ち時間は、おおむね1人15分程度でお願いします。

発言要旨における内容の発言をお願いします。

発言者

6つのまちづくりビジョンの安心安全に暮らせるまちづくりに通学路の防犯、交通安全対策の強化がある。私は現在、民生委員として1期3年が終わるところだが、野田小学校の低学年児童1年生から3年生までの下校時の見守り活動を行っている。担当地区は内裏塚の丘、内裏塚浜で、旧野栄町の一番東側、隣は共興地区である。野田小学校のある今泉、葬祭場の脇からローソン前の交差点を経て岡の児童は東へ共興の方へ向かって進む。内裏塚浜の児童は野手浜、旧望洋荘の方に向かって南進する。この通学路の一部除草作業を進めていただいているが、

歩道の雑草が生い茂り、歩行が困難な状況である。歩道に草が生い茂っていると、どうしても車道の方に飛び出す危険がある。一緒に歩いていても手でかき分け進むのが少し困難な状況もあるので、少し除草していただいたが、少し残っているので配慮いただきたい。

座長

それでは、発言に対し、市長はどのような考えか、答えをいただきたい。

市長

現在、市では、匝瑳市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路の点検を匝瑳警察署、区長会代表者、各小学校の管理職、PTA代表者や道路管理者である海匠土木事務所、市建設課、市環境生活課、市教育委員会により、毎年8月に実施している。特に昨年、令和3年には八街市の事故を受け前倒しし、7月に点検を実施したところである。

また、学校や教育委員会等において登校の様子と併せて随時通学路の安全確認を行っている。確認により、通学路に雑草が繁茂しているなどの状況を発見した場合は、市道の場合は建設課等で除草を実施し、県道の場合には海匠土木事務所に除草の依頼をしている。これからも小まめに通学路の点検をするとともに気付いた点があれば、学校や教育委員会等に連絡をいただければ早急に対応し、八街市のような痛ましい事故が起きないように児童に安心安全のためしっかりと努めていくので、今後とも協力をお願いします。

座長

続いて発言をお願いします。

発言者

6つのまちづくりビジョンの未来へ夢と希望を持てるまちづくりについて質問させていただく。共興地区に限らず、空き家が非常に増えている状況である。私たちの子どもや孫の世代が匝瑳市に住みたいと思えるような魅力にあふれて活力のあるそういったまちづくりをしていただきたいと希望している。特に共興地区の場合は、海などの資源があるので、地域資源を活用したまちづくりに具体的な構想があるか聞きたい。

座長

それでは発言に対し、市長はどのような考えか、答えをいただきたい。

市長

私としても、この若い世代の方々が、匝瑳市に住みたい、住み続けたいと感じていただける魅力あふれるまちになることを目指している。そのためには、やはりこの産業振興と雇用の確保と合わせ、子育ての環境の充実等への取り組みが重要ではないかと考えている。私が掲げるビジョンの中に、成田空港の機能強化や銚子連絡道路の延伸による産業用地の整備や雇用の確保を具体的な取り組みとして位置付けている。現在、成田空港では、滑走路整備等による機能強化が計画されているが、皆さまもご存じの通り銚子連絡道路は、横芝光町から匝瑳市、この横須賀地先までの工事が順調に進んでいるところである。このような社会インフラの進展を見据え、現在市では、銚子連絡道路インターチェンジ周辺において地域活性化につながる産業用地の整備について検討を行っている。そのような中からこの産業用地の形成による新たな雇用の創出と併せ、子育て支援に関する施策に取り組むことにより、この若い世代の定住と市外からの移住を図りたいと考えている。

また、こうした市の取り組みを市内外へ発信するため、シティ・プロモーションの活動を強化すべく「匝瑳市シティ・プロモーション方針」を取りまとめた。今後はこの方針に基づき、インターネット、SNSなどを活用しながら、動画の作成、各種団体等と連携した情報発信など様々な取り組みを行い、匝瑳の海岸線の魅力も含め、市内外へ発信したいと考えている。

また、空き家等も、しっかりと活用できるよう、空き家バンク制度があるので、そのようなことも生かしながら、移り住んでいただけるような支援にも取り組んでいきたい。

座長

続いて発言をお願いします。

発言者

7つの重点施策の一つである市民が望む新病院の建設について、これは私も含め、地元の高齢化が進んでおり、病気になったときに市民病院に安心してかかりたいとまでは言わないが、診ていただけるような病院を早く造っていただきたいというのと、病院がかなり古いという状況で、私たちが生きている間に造っていただけるのか、いつ頃になるのか。また、病院の場所、利便性があった方がいい

か、今の病院のところに建てるのかなど、集落で色んなことを皆さんから言われ、その状況がまったく分からない、情報がまったく入らない状況で、立地選択にしても新築をするにしても、新築でも数年、あと4、5年はどう考えても建設にかかるでしょうから、いつ頃を目途にやるとか、具体的な立地とか、あと、その建設までのどのくらいまでできているのか、ぜひ知りたいということで、代表して行ってきてくれということで今日来させていただいた。

あと、もう一点、初期の救急医療の実践ができる病院を目指すということであるが、今夜間に関しては、ほとんど受診ができない。それは色々検査等々できないので、旭中央病院へということであるが、実際行った人によると、中央病院に行くとは平気で3時間は待たされるとか、旭までは遠いので年寄りには車を運転していけないとか色々言われる。ぜひ土日を含む夜間も診ていただければそれにこしたことはないので、その辺含めて病院のこれからのことについて、どのような考えかお尋ねしたい。

座長

それでは発言に対し市長はどのようなお考えか、答えをいただきたい。

市長

市民病院の老朽化が著しいというのは皆さんご承知の通りだと思う。そのような中で、私自身この実情を視察しているのか、分かっているのかというようなところがあったが、私も就任以来何度となく市民病院に赴き、老朽化の現状実情を確認しているところである。現地で職員からも聞き取りなどを行い、玄関ロビーや病室の雨漏りなど様々な箇所での老朽化の現状を把握しており、やはり一日も早く建て替えを着手しなくてはならないと考えている。病院の菊地事業管理者とも何度も病院の現状や建て替えに関する意見交換を行っている。また、病院職員の老朽化による苦勞や建て替えに関する思いなどを聞かせていただいた。

新病院は何年頃の完成を目指すかということであるが、現在のスケジュールは、令和5年度から用地の取得を行い、それから建物の基本設計、実施設計、そして工事着工へと進む予定であり、このスケジュールで行くと令和9年度中の完成を今目指している。

次に、建設候補地の選定についてだが、現在候補地を3か所に絞って検討を進めている。1か所が以前から挙げられているそうさぬくもりの郷の隣接地である。

この場所は、以前より候補地として検討を進めてきたが、新たに私が八日市場駅の南側の水田エリア、そして、この市役所の脇にあるそうさ記念公園のさらに北側の2か所を検討に加えている。これらの候補地について、現在、将来性やまちづくりに与える影響の他、様々な視点から検討を行っている。また、この候補地についてはやはり場所が決まらなければ何も進まないかと思うので、できるだけ早く決定し、先ほど申し上げた次年度の用地取得に向けて動いてまいりたい。

次に、市民病院での救急の受け入れ体制の充実についてのお尋ねであるが、私は市民の皆さんに安心して生活していただくためには、やはりこの救急医療の充実ということも重要であり、欠かせないものと考えている。しかし、夜間でも断らない、初期救急医療の実践できる市民病院の建設を公約に掲げさせていただいているが、このことについては、私も市長就任直後から病院の菊地事業管理者とも何度か相談をさせていただいている。ただ、現状では、どうしても医師不足ということで、やはりこの日中の救急対応は平日や休日でもしっかり行い、約8割は受け入れているところであるが、夜間の救急対応というところがやはりどうしても医師1人で行わなければならない中で、その医師の専門分野以外の診療というのは断らざるを得ないというケースが多くなっているのが現状であり、そのような報告を受けている。また、海匠地域の医療圏での約束事で、現在は、市民病院で受けられない患者については、旭中央病院で診てもらえる取り決めがされているので、救急の受け入れ先が見つからずに診療ができないというようなことはないかと伺っており、しっかり旭中央の方で受けていただけると聞いている。このような医師不足や医師の専門化傾向などの現状を踏まえると、なかなかこの夜間救急の対応の充実というところが容易なことではないが、医師の確保にしっかりと努め、少しでも救急体制の充実を図りたい。

発言者

協力は惜しまないので、早期の実現をお願いしたい。

座長

続いて発言をお願いします。

発言者

私も市民病院のことだったので、内容的には同じになるので、なるべく早く建て替えをお願いしたい。

座長

答弁は、よろしいか。

市長

改めて少し答えさせていただきたいと思うが、早期にという中では、この建て替えについては、平成28年度から取り組んでおり、平成29年度には、有識者などで組織する「建替え整備検討委員会」から、建替え整備に係る基本構想及び基本計画が答申され、その際に、建設場所や病床数などについては、市としても、十分に検討するようという附帯意見が添えられている。そのような中から、この基本構想及び基本計画については、答申内容をそのまま尊重することとしているが、附帯意見に付いていた建設場所や病床数については、現在、改めて検討を行っている。この中で、建設場所については、先ほどの申し上げたとおりだが、現在3か所に絞り検討している。

また、病床数については、当時の答申では100床ということであったが、その後、病床利用状況や今後の人口減という中での医療需要などを踏まえ、改めて検討しており、現在は合わせて80床程度が適当ではないかと支出等も含めてそれぐらいが適当ではないかということで進めているところであり、検討の方しっかりと進めていく。

発言者

私から2点ほど伺いたい。まず、7つの重点施策の4番目、銚子連絡道路インターチェンジ周辺の整備、それと5番目の市民の安全を守る新消防署の建設この2点について教えていただきたい。まずは、銚子連絡道路周辺の整備とあるが、現在の具体的な工事の進捗状況、それとどのような周辺の整備、先ほども市長より話しがあったが、具体的なビジョンがあれば教えていただきたい。

あと、消防署の建設について、24時間365日東日本大震災以来消防署も大変だと思う。そういう中で、どのようになるか教えていただきたい。

市長

銚子連絡道路の工事の状況、進捗状況であるが、銚子連絡道路の二期区間といわれている横芝光町から匝瑳市横須賀地先までの間については、現在、令和5年度に供用が開始される見込みであり、現在計画どおり進んでいると聞いている。また、銚子連絡道路三期区間として、残る匝瑳市横須賀地先から旭市間について

は、令和3年度に都市計画法に基づく計画変更手続きを経て、現在、千葉県において、地域住民の皆さんに説明会を行い、今後現地測量、調査を実施する事業を進めていくと聞いている。

次に、銚子連絡道路のインターチェンジ周辺の整備についてだが、二期区間では、1か所、また、三期区間では、2か所のインターチェンジの建設が予定されている。市としても、現在、人口及び就職機会の減少などが問題、課題と考えており、これを解決するためには、やはり産業用地の整備を推進することにより、新たな雇用の創出や、税収を増やすというようなこと、地域経済の活性化につなげていきたい。そのためには、現在、令和4年度から5年度にかけて銚子連絡道路インターチェンジ周辺の整備を行うために、「匝瑳市産業用地候補地検討調査業務」を実施している。本市にとって産業用地に適した場所がどこであるかということ調査により、十分に検討し、国や県などしっかりと連携し、また、地域住民、市民の皆さんの理解をしっかりと得た上で、産業用地の整備に取り組んでいきたいと考えており、現在は、計画を見つけるための調査を進めている。

次に、新消防署の建設についてであるが、検討状況は、現在、匝瑳市横芝光町消防組合内の検討組織である「匝瑳市横芝光町消防組合 消防庁舎建設（建替）検討委員会」というものが設置されており、そちらの方で新消防署の早期完成を目指し、消防組合と匝瑳市と横芝光の3者が連携して検討を進めているところであり、今はその中でもどういうところが良いのかというそういった問題もあったということで、課題整理を今のところ行っている。さらに横芝光の分署が、今建て替えをしており、こちらは令和5年度で建設が終わるような状況であり、その後匝瑳市の消防署の方の建て替えを進めていくというような形になるかと思う。

発言者

銚子連絡道路、家の前を工事しており、毎日大きなコンクリートをやる車が上から流し込んで、高架がきれいにできている。市道や県道を工事だから通行止めにしたりして、横断するところの橋を架けて旧ピッチで進んでいる。それで今度、八日市場野栄線。県道ですが、そこにもインターができるということで、盛土工事が始まると聞いている。さっきの話だと令和5年度に供用開始ということで、匝瑳市の発展のため大動脈が一本できると千葉に行くにも1時間かからない。旭に行くのも何分もかからない。やはり市の発展には道路です。うちの集落も初め

は、測量で田んぼが全部三角になったなど、十分理解が得られなかったが、やはり国がやる仕事、市がやる仕事だと、みんな仕方なく印鑑押したのが本当だ。急ピッチで工事が進んでいるので、ぜひとも令和5年度供用開始の実現に向けて市長さん大変だが、匝瑳市をより大きな市として発展させていただきたい。

消防署ですが、近隣の消防署みんなきれいに建っている。山武も立派だし、旭もそう、銚子の方も建ったと聞いている。横芝光も5年度からですか、ぜひ匝瑳消防署も、病院も建てる。消防署も建てる。ない袖は振れないというのが本当だと思うが、順次検討整理してもらい建てられるように、すぐには言わないので、長期なビジョンで宮内市長に頑張ってもらいたい。

市長

地域住民の皆さんにご理解をいただき、銚子連絡道路に関しては、急ピッチで進んでいると私も通りながら見させていただいている。本当に皆さんのご協力あってのことだと思う。そのような中で、やはり道路ができるだけではなく、そこをどう生かしていくか、これからの匝瑳市の一つの起爆剤にもなる。この地域がこれから発展していけるか、持続的な発展を遂げられるかどうかのターニングポイントになると思うので、空港の機能強化と併せ移住定住、また、この地域に住んで住み続けられるそのような雇用の場を確保する。また、税収を上げるために企業を呼び込むということは、本当に重要なことだと考えているので、しっかりとその辺は努めていく。

座長

続いて発言をお願いします。

発言者

まずは、7つの重点施策6 市民が求める生活基盤の整備について、生活排水の整備に関して具体的にどのような構想を持っているのかをお伺いしたい。ちなみに新宿区では、年1回の側溝清掃と排水路整備としての草刈りを実施しているが、現在、新宿区は居住する住民の中には、区会に入らない方が多数いる現状であり、今後の区会での運営もだんだん難しくなっている。こういう状況になり市長何か政策があればご教授願いたい。

座長

それでは発言に対し市長どのような考えか答えをいただきたい。

市長

各地区の側溝清掃や草刈りについては、住民の皆さま方のご協力により実施をいただいているところであり、市では清掃後の堆積物の処理などをさせていただいているが、高齢化等や住民がなかなか新しく区会に参加いただけないというような中で、この側溝清掃や草刈りという作業が困難になった場合、市で対応しているところも現在あるが、今後ともそのようなことで相談をさせていただきたいと思う。

なお、私の重点施策の一つである市民が求める生活基盤の整備というところの中で、この生活排水路の整備も位置付けており、安心安全に暮らせるまちづくりに向けて今後も取り組んでいきたいと思うが、やはりこの少子高齢化という中では今後何か抜本的な検討をしていかなければならないと考えており、そのようなことも地域住民の皆さまとしっかりと考えていきたいと思う。今後とも皆さまのご協力をいただきたい。

発言者

ちなみに側溝清掃の場合、蓋があるが、確かにもう高齢者で蓋を上げてけがをする可能性がある。蓋開けを市でやっていただけたら、場所を決めて1回に全部じゃなく、5年なら5年のスパンで全部まわれるとかそういうような何かあるか。

市長

確かに高齢化する中では今後作業がきつくなりその蓋を上げるようなことでのお手伝い等を一部させていただいているところはあるが、何かシステム的にこううまくできるか検討課題として預らせていただき検討させていただきたい。

座長

続いて発言をお願いします。

発言者

私からは、この6つのビジョン7つの重点施策ですが、これに関連したところで、夏に息子が帰ってきて話したときにこの内容が入っていたので、この時の会話をペーパーにし、机上に一部配布があると思うが、私からはこれを読ませていただき、大きな問題提起になってしまうかもしれないが紹介させていただく。

祇園祭に息子が何年かぶりに彼女を連れて東京から帰ってきた。駅まで迎えに

行った車の中で、「駅の周りは、相変わらずほとんど駐車場だね」「匝りの里は盛っているの」「コロナ禍の中でよく祭りをやることになったね」などと話しをしながら自宅に向かいました。自宅に着き、息子の近況報告を受け、私からもこんな話しをしました。「私も高齢となった。近い将来お前達が田舎に帰って来てもらいたいと思っている」と本音を言いました。「帰って来て働く場所がないよ」との返答だった。夕方になり、どこか食事でもしようかということになり、息子から近くにおしゃれな店とかあるのと聞かれ思い当たるところがなかった。妻の提案で市外へ行くことになった。食事をしながらこんな話しも出た。「おやじは以前1か月に1度、東京の病院に来ていたよね。その時、会ったきりだね。今はどこの病院に行っているの」私は「市民病院だよ」なんて話しをしながら、ひと時を過ごしておりました。祭りが終わり、東京に帰る日が来ました。田舎の土産を持たせようと思いましたが、名物が思い当たらず、ちょっとした妻の手料理を持たせて帰って行きました。のちほど息子から自宅に無事着いた旨の連絡があり、「電車を待っている時に思ったんだけど、駅の南側は、だいぶ前から立派なロータリーができているけど全然変わらないね。その先に銚子連絡道路が通るようだけど、開発の計画はないの」私は「特に、計画されてないよ」息子は「そう。では、体に気を付けて。そのうちにまた帰ります」というわずか1日であまり会話もなかったがこのような話があった。

息子と会えたのはわずかな時間であったが、そのわずかな時間の中でも、魅力あるまちづくりへの課題が見えた。息子との会話の中で、私はこんなことを思っていた。まず1番として駅の周りの関係ですが、市内に働く場所がなく、一等地ですが市外へ通勤する人達の駐車場になっていること。駅前ではあるが、匝りの里が盛っているとは言い難いこと。祭りは派手だけど、文化伝統を守るのも大変。内情は若手の人手不足で各町内は四苦八苦している。帰ってきてくれと言ったところ、働く場所がないよと言われたこと。確かに田舎に帰って来て働く場所がない。市内にしゃれた飲食店はちょっと思い当たらなかつた。私がさらに高齢になったとき、高度医療に対応した市の医療機関はあるのか。肩身の狭い思いをし、他市の医療機関へ行かなければならないことにならないのか。電車を待っているときの本人が見た駅の南側は、立派な駅前ロータリー、南に下がる立派な道路、横断する銚子連絡道、駅の南側に高度医療対応の市民病院ができれば、老後の不

安も解消され経済の活性化に繋がるだろうなと感じた。息子はそのうちに帰るまでに、少しでも魅力あるまちづくりに近づいているのだろうかということです。息子が帰って来たのが2年ぶりだったが、分かりやすく言うとほとんど変わっていないねというのが状況で、わずか1日の中でいわゆる客観的に外から見た人の中で感じている。また、私もそうだなというふうを感じる。という出来事だったので皆さんに紹介させてもらった。

それから次の裏面ですが、これは私の考えですが、考察として、まちづくりの目標が、細項目ごとに、もっともな内容で設定しているが、結果が見えてこない。匝瑳市に限らず、魅力あるまちづくりは、とても難しい課題である。どこの市町村もきっと問題もっていると思う。P D C Aサイクルを繰り返し、目的を立てたら評価する。その実績の評価のP D C Aサイクルを繰り返し、施策の中止や継続、そして、見直しを図り、計画を立てたからには目標達成の成果が必要となるということで、民間の企業では短期間に市の行政は仕事が大きいのので中長期的に諮るのですが、民間の企業では1期とか半期ごとにこの施策、P D C Aサイクルを確認して、切るものは切って前に進むということをしている。市はそれが見えない。だから息子が来るまでの2年が経過しても変化も見えない。

ここまで長くコロナ禍が続くと、終息しても「新たな生活スタイル」が定着することが想定される。物事が、必要なもの、採算のものと必要でないもの、不採算ものに区分され、合理化社会に拍車がかかるような気がする。国が推進するデジタル化により、経済社会情勢の変化は一層加速する。私達は、近未来を予見しながら、目標達成に向け、活動をしていかないと、時代に乗り遅れ、魅力あるまちづくりは実現できないと考える。

整理すると、デジタルの進歩についていけない。ほんとに恐るべきというかデジタル化の進化は、印鑑の文化が無くなって以降、どんどん私は進んでいると思う。私も仕事柄税金の関係の仕事をしているが、今は皆さんご承知か分かりませんが、帳簿を作るとか、こんなたまってしかたない領収書が何箱もためて7年から10年保存しておかなければならないが、今、そういうのが必要なくなった。全部捨ててくださいと国は言っている。それは、もうデジタル化なので、全部いわゆる7箱の領収書は全部スキャンしてもいいですよ。スキャンしたら全部7年間捨ててくださいと、それから帳簿を打ち出して元帳出力したらその元帳も全部

出力することはないですよ。データで保管してくださいというのがもう国がどんどん進んでおり、令和4年1月1日から施行されているので、こういうふうにとんども進んでいる。それからもう一つは、デジタル化で紹介すると、電子取引引きです。いわゆるお客さんのところに請求書送りましたよ。お客さんから請求書もらいましたよ。メールで送りますよ。Amazonとか楽天とか 買い物しますよ。デジタル取引引きについては、これは皆さんびっくりすると思うが、全部、その出力したペーパーを保存するのではなく、正しい正本がデジタルになったんです。これは、いわゆる商売をやっている方がもうそれにしなければいけないんです。令和4年1月分からでもまだ一般国民に施策の理解が得られないということで、2年間の宥恕規定で、再来年の1月1日から施行です。令和5年の1月1日からもういわゆる小規模の事業の方も電子取引の紙を全部捨ててくださいと、正本とはデジタルなんですよということになっています。おそらくご承知のとおりインボイスが電子インボイス、それから電子インボイスももう古くてデジタルインボイスと、もうデジタルの社会というふうになっている。だからちょっと短いスパンと、中期的なスパンでやって別だなあって言ったらまた取り遅れてしまうというふうなどんどんどんどん進んでいるので、そこらを見据えて行動して行って、PDCAサイクル繰り返していかないと、取り遅れてしまう。

それから、民間のハウスメーカーの紹介ですが、千葉県で住みよいランキングなんか新聞でありました。確か9月ごろだったと思うが、ほとんど千葉県下の住みよい所どこがいいですか、住みやすい所どこですか、魅力あるまちどこですかっていうとやはり千葉から東京の方になるが、近隣見てみると、旭とか入っている。確か今年は15番だったと思う。前年も10番、田舎だから魅力あるまちづくり、住みやすいまちづくりっていうのがなくてやっぱり近隣でもそう感じているところがあるということです。だから大きな目で見るとか、物事を考えていかないといけない。できた段階ではもう遅れている。まだ何年かの計画という話しになってしまうというのを感じている。色々これがどうのという話ではないが、私がそのように感じているので発表させてもらった。

座長

それでは発言に対し市長どのような考えか答えをいただきたい。

市長

区長から八日市場駅周辺の活性化、また、雇用、医療、そして魅力あるまちづくりへのことということで、市政全般にわたる課題について意見をいただいた。まず、八日市場駅周辺の活性化に向けた取り組みとしては、今後、駅南側においては、私自身も乗降可能な開札窓口の整備、また、生活基盤整備の重点施策として掲げており、私が本年5月に直接JRに出向いて協議・要望を行ってきたところである。また、先ほども答えたが、やはり、現在、市民病院の建設候補地の一つとしても検討を進めているところである。

次に、駅北側については「匠の里」についてJRと連携したイベントや、年間を通じての季節のイベントを実施しているところであるが、引き続き、管理運営を行っている匠瑤市観光物産協会をはじめとした関係団体と連携し、駅前というこの立地を生かした集客に努めていきたい。やはり駅を利用するという方が増えないと、やはりJRもなかなか南側改札口を設置するというにもなかなか理解が得られないものがあるので、そのようなまち全体として、やはりこの利用客が増えるような取り組みをこれからもイベント等通して行っていきたい。

次に、雇用対策に関しては、現在、みどり平工業団地をはじめ、地元企業があるが、こちらも先ほどお答えしたが、現在工事が進んでいる銚子連絡道路、このインターチェンジ周辺に産業用地を整備することにより、新たな雇用の創出、地域経済の活性化に取り組んでいきたいと考えているが、この産業用地についても当市の一次産業盛んなので、このような農業と関係するような新たな企業などを誘致したいと考えている。

次に、高度医療に対応した医療機関について、現在、香取海匠医療圏という中では、旭中央病院がやはり高度医療を提供している管内ではそのような状況である。本市は、市民病院をはじめ、旭・匠瑤医師会としっかり連携しながら、皆さんが安心できるような地域医療に取り組んでいくところである。

今後は、人口減少や少子高齢化などの様々な行政課題や、それに加え脱炭素ということやSDGsといった新たな諸課題にも取り組みながら、全体的な匠瑤市の魅力づくりというものを進めていきたいと考えており、今まで不得意分野としていた、匠瑤市の魅力をもっともっと外に発信するなど、そもそもこの市民の皆さん自身に地域愛をもっともっと持ってもらえるように、そしてまた、外に出た

方達が匠瑛市にやはりまた戻ってきて、もっと活性化させたい。新しい事業、じゃあここで自分が起こしてみたいって思われるようなそんな魅力あるまちづくりをこれからなるように私自身しっかりとリーダーシップを発揮しながら取り組んでいきたい。デジタル化というようなこともやはり当初に申し上げました、今までの前例を打破するというようなやはり市役所もこれからの時代に合ったデジタルの推進などといったところもしっかり取り組み、この旧態依然というようなところを脱せられるように、時代に乗り遅れないようにしっかりとこのデジタル化の推進等へも取り組んでいきたい。また、このような意見、気付いたことがあれば、どんどんおっしゃっていただきたいと思う。まち全体しっかりと盛り上げていくように頑張る。

発言者

やはり見ますと、これ6つのビジョン、7つの重点施策、どれも立派であるがどこの市町村もやっている。さっき言った通り実績の評価、いわゆるこれを掲げたらプランを立てたら、D o 実行、C でチェックをして、A c t i o n で改善して行くというのをセクションごとにプロジェクトを作って、やっていかないと絵に描いた餅となってしまう。やはりある程度短いスパンでやって見ていかないと難しいと思う。一番大きな問題は病院の建設だと思うが、有識者の方々に十分練っていただいて、医師不足、患者不足、公立の大きな箱モノの赤字の改善、どこかでそのガイドラインとか色々出ていると思うが、一番大きな事業になると思うので、ぜひP D C A で前向きに進んでいただけたらと思う。

市長

P D C A サイクルをしっかりと回しながら、やはり今、どういう状況なんだということも市民の皆様にもしっかりとお知らせしていかなければならないと考えている。そのような中からこの新たなこの6つのまちづくりそして7つの重点施策を匠瑛市の新たなまちづくり戦略と位置付けて、改めてこの庁内に組織として新戦略推進会議というものを庁内に設置したところである。今後そのような中で各進捗をはかりながら、そのような達成状況というところもホームページ等でお示しできるようにしていくので、そのようなところも今後確認いただければと思う。

座長

それでは、まだだいぶ時間はあるが、7名の区長の発言が終了した。市長せつ

かくなので、時間があればお話しを伺ってもよろしいか。

市長

はい。

座長

何か質問しなかった人で、質問があればお願いしたい。

発言者

地区で道路等の直しとかを要望する。ちょっとしたのはすぐにやってくれるが、なかなかやってもらえないものがある。聞くと、入札だとかと言われる。結局は予算的なものだと思うが、すぐやるのと1年2年かかるのがある。その辺の見極めは、どのように決まっているのか。

市長

皆さんの生活に直結するような道路ですとか側溝の整備であるということで、確かに市の予算がある程度枠を決めながらその中でどのようにそれを使っていくかというところは、やはりこの安全性や急を要するものであるとかそのようなところの各地区からかなりの要望が上がっているところであり、それを全体的に見た中で、その安全性、急を要するものから順にやらせていただいている。確かに要望したが、もう2年も3年経ってもまったく進まないというようなところも多々あると思う。しっかりと順位を付けながら進めており、なかなか一時にできず、また、ご期待に沿えないところもあるが、しっかりと全体見まわしてのことということで取り組んでおり、ご理解をいただきながら、また、ご意見として受け止めながら、対応できるように頑張りたい。

発言者

結局1年出してダメだったら翌年になる。翌年も同じもの出さないとダメなんです。2年3年経ったら毎年同じことを出していくと思うが、一向に進まないものもあるので、なるべくそういうことをお願いしたい。

市長

ご意見として伺う。

座長

他には。

発言者

先ほどから各課の課長さん方お休みのところ出席いただいているが、各課の方で、今後、市長が提案されているまちづくりに対する考え方に対する予算面、最終的には一番予算面が大事なのかなと思う。よく市の方に要望を出すと、予算がないから予算がないからということで全部後回しになる。これが今の現況だと思う。これらを解決するための予算の取り方をどのようにするのかお聞きしたい。

市長

様々な分野によって国や県の補助金というものもある。しっかりとそのようなことの要望活動を行いながら、もちろんそのような有利な補助金をいただきながら、市の持ち出しをなるべく減らし、しっかりとそのようなことに対応していきたいと考えている。また、国の方も色々な計画を作成することにより、そのような補助金が有利といったこともある。市の方もできる限り財政厳しい中ではあるが、そのような有利な起債を起こせるようなものや補助金などをいただきながら各事業取り組んで行き、安定した財政基盤をしっかりと守りながら、そのような投資ということにもしっかりと取り組んでいきたいと考えている。

発言者

補助金というのは、非常に大事な部分だと思うので、とにかく計画をもって、そしてこれは補助金をもらうためにどのようなやり方があるのかというものを今後検討し、一日も早くその補助金をもらうということをしていただきたい。

発言者

やはり事業実施にはお金が必要。計画行動には予算が必要。どこでも財政は非常に圧迫していると思う。やはり一つ考えるのは市のお金を使うのではなく、私が知っているところでは、地方版クラウドファンディング。違うところから、分かりやすく言えば、ふるさと納税みたいな形である。この活動に対して市税のとは別に違って民間で言えばクラウドファンディング、市町村版クラウドファンディングそういうところからもお金を取ってくると、そういうので活性化につなげるという案もどこかであった気がするので一つ紹介する。お金がないからできませんではなく、じゃあ無かったらどこからお金を持ってくると考えないと。

座長

市長。

市長

ふるさと納税、年間の何十億とこう持つてるところもあるが、まだまだ匝瑳市は、そのようなところは少し弱いと感じている。せっかくこの地域の特産品をPRできる。また、地域の方達も出荷することで産業がまた活性化するというようなことで、ふるさと納税、非常に有利なことだと思うので、もう少し力を入れて取り組んで行こうということで、庁内にも指示を出したところである。収入を上げる取り組みということは、しっかりしていきたいと考えている。さらには、ネーミングライツ、例えばこの八日市場ドームに企業の名前を付け、その年間の契約料をいただくという形で新たなそのような取り組みも来年度から進めて行こうと計画しており、税外収入を上げる取り組みにもしっかり取り組んで行く。

座長

それではこの辺で質疑は終わりにしたいと思う。本日の懇談会では7名の各地区の区長さんから発言され、宮内市長から匝瑳市を良くしたい。発展させたいという思いが強く感じられた。特に7つの重点施策の1番市民が望む市民病院の建設について令和5年に用地取得、令和9年には完成を目指す4年位でやっていただけるという力強い言葉をいただいた。候補地にしても、ぬくもりの郷の隣接地、駅前南側の用地、この市役所の北側の用地、その3点に絞っている。具体的に令和4年、具体的な話が今日お伺いできた。区長をやっていて、何もやらなかったらこのような話しはできませんが、コロナ禍で集まってもらい、意見をもらったということは大いによかったのではないかと思う。区長会としても地域住民のために、市政発展のために、市の皆さん市長はじめ幹部職員の皆さんはじめ職員の皆さんと色々こう話しをしたりして、協力していきたいと思うので、よろしく願いしたい。最後に本日の懇談会の全体通じ宮内市長からひと言コメントをいただきたいと思う。

市長

長時間にわたり貴重なお時間をいただき誠にありがとうございました。区長会の皆さまからいただいた貴重なご意見については、しっかりと今後の市政運営に生かしていきたいと思う。また、今後の匝瑳市の活性化に向けた取り組みに向けては、区長会の皆さまのご協力、また、一緒に考えながら進めていく、そういったことのようなキャッチボールを通しながら、また、お互いのやり取りができれば

ば、また、地域住民のご理解がいただければと思っている。今後ともよろしくお願いたします。簡単ではあるが本日のお礼のあいさつとさせていただきます。

座長

本日は、まちづくり懇談会に長時間お付き合いいただき、真摯な意見交換や質疑応答ができたこと、宮内市長はじめ、市役所幹部職員の皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。今回の懇談会の内容をぜひとも今後の市政運営に生かしていただきたい。本日この懇談会に参加された皆さまの今後益々のご活躍とご健勝を祈り座長の座を下ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

以上